



核兵器廃絶は都市・市民の力で！

「2020年まで」と 秋葉広島市長

コープやまぐちなど5団体で構成する山口県ピースアクション実行委員会主催の「やまぐちピースフォーラム」が、6月30日、山口市で開催されました。平和市長会議会長の秋葉広島市長を講師に招き、県内の8自治体の首長・副首長を含め、組合員ら475名が参加しました。（山口県内の平和市長会議「全19市町加盟」は、広島県に次ぐ100%加盟で、当日、参加できなかった首長からも平和へのメッセージが寄せられました。）
講演で秋葉市長は、5月にニューヨークで行われたNPT(核不拡散条約)再検討会議の報告を始め、平和市長会議の取組、都市がこれから果たす役割など、2020年までに核兵器廃絶を実現しようと呼びかけられました。

「核兵器のない平和な世界を目指して」

「21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代」（文責 編集部）

講師 秋葉忠利広島市長(平和市長会議会長)



最初に、山口県ではすべての自治体の首長さんに平和市長会議に入ってください、ということができました。心から御礼申し上げます。市民の方と自治体との関係が大変うまくいっている、その一つの例がこの山口県だと思います。皆さんのこういった気持ちや行動を、これからどういうふうにするかをお話させていただきます。

「変革」のための4つの原則

私たちが目的にしているのは核兵器のない世界をつくるという、ある意味非常に大きな変革です。コーネル・ウエストという哲

学者が、「変革」のための4原則を明確にまとめていますが、これからの私たちの活動に大変参考になると思っています。

1つは、「変革のための力は自分の中にある」。誰かに頼るのではなく、自分たちがすでにその力を持っているんだということ。大切なのは、歴史的な文脈の中でこれを生かすということ。2つめ、変革の視点は英語の「ライブ」。一人ひとりの生活や生命が大切だという身の回りから、多くの人々と共鳴して、まちづくり的な視野に広げ、最終的にはそれが人類に及ぶということ。3つめ、変革の目的、それは子どもたちのため、未来のためです。4つめ、因習や決まりにとらわれず、古いカラを打ち破れる勇氣あるリーダーが必要だということです。

「市民・都市同士の連携が世界を動かす」

私は今、「変革」以上の「変革」、大変大きな「変革」が起きていると感じています。核



兵器廃絶の動きを見ると、ひとつは「報復から和解」、やられたらやり返すのではなく、それを超えた次元でより良い未来をつくるにはと考える人たちが増えていること。そして、本来国家レベルで解決されなければいけない核兵器問題ですが、都市が非常に重要な役割を果たし始め、市民の参加を中心にした多様な活動になってきています。もうひとつは、核兵器反対という考えは少数派だと切り捨ててしまう傾向がありますが、実は核兵器をなくそうというのは多数派の声だということに

そこに属する人たちが気づき始めているのです。大きな権威に従う支配・被支配という考え方や物事の動かし方から、市民同士・都市同士のパートナーシップが国を動かす、世界を動かすという形考え方に変

わつて来ているということ。具体的な例としては、温暖化防止問題です。ブッシュ大統領時代のアメリカでは京都市定書にまったく関心を示していませんでした。しかしアメリカ各都市の首長さんたちが立ち上がり、温暖化ガス削減目標を掲げ、市民みんなが協力して目標を達成したとすれば、連邦政府が目標を達成したと同じことじゃないかと。つまり、グローバルな問題を解決するためには国がやらなくても、都市に住む市民一人ひとりが力を持つていんだということなのです。

核兵器廃絶でも同じことが起こっています。平和市長会議は現在、世界143ヶ国・地域、約4,000都市が参加しています。この間急激に加盟都市数が増えています。これは、核兵器廃絶のための緊急行動「2020ビジョン」で、2020年までにすべての核兵器を廃絶するという目標を掲げて、世界の都市に加盟を呼びかけた結果です。今年中には5,000都市10億人の声を代弁する組織になりそうで、これだけの人の声を大事にしていくということです。

平和市長会議での取り組み

1つは、核保有国に対して、「核軍縮を行う」条約義務履行を改めて求める働きかけをしています。2つめ、核兵器は砂漠に打ち込んで意味がないわけで、都市を攻撃するものだという考えに対して許せないとする「都市を攻撃目標にするなCANTPプロジェクト」の署名活動を行ってきたこと。これは、山口も含め全国の生協組合員を中心に約104万筆の署名を集め、今回の再検討会議の議長に届けたものです。3つめ、2020年廃絶に至るまでの道筋を描い

た「ヒロシマナガサキ議定書」の策定と再検討会議での採択を求めて働きかけてきました。



NPT再検討会議議長へ署名の提出

都市を介した市民参加が大切 核兵器の廃絶は多数派の声

平和問題も外交問題も、市民が参加することが大切。その例として、アメリカの約1,200都市が集まっている全米市長会議があります。1930年代に発足以来、政府の政策以前の問題として、市長会議レベルで十分世論の土壌を固めるといふ役割を果たしており、現在、環境核兵器、そしてアメリカ経済問題に熱心に取り組んでいる組織です。この会議でも、平和市長会議の2020ビジョンを支持する決議が満場一致で採択されています。

今年1月に招待を受けた際、オバマ大統領と言葉を交わすことができ、「ぜひ広島へ来てほしい」と言う、「ぜひ行きたい」と彼は答えてくれました。オバマ大統領が広島に来ることはアメリカにも日本にもとても重要なことだと思っています。そのオバマ大統領の去年のプラハ演説、核兵器廃絶に向けた明確な決意の表明、これは被爆者や平和市長会議がずっと主張してきたことがそのまま盛り込まれているといつていくらい良い内容だったと思っています。それを受けて、今広島では「オバマジョリティーキャンペーン」:

「オバマ大統領」と「マジョリティー(多数派)」を連結した言葉で、核兵器廃絶を求める大多数の合言葉として世界に発信し、国際世論を盛り上げようとしています。

再検討会議で最終文書を採択

NPT再検討会議での採択に向けての政府からのヒロシマ・ナガサキ議定書提出は、残念ながらありませんでした。しかし、平和市長会議代表団の派遣やスピーチ、各国政府代表への要請活動、約2万人が参加した平和行進等も行われました。また、広島での「Yes!キャンペーン(市民による平和市長会議支援の取組で、全国自治体首長に議定書への賛同署名等と呼び掛け)」で得た署名を外務副大臣にお届けし、再検討会議の場で議定書に言及をしていただきました。そうしてついに、核軍縮の進展や核不拡散体制の強化を促す行動計画を盛り込んだ最終合意文書が採択されました。核保有国を含む全ての加盟国が核廃絶に向け具体的行動の開始を合意した意味は大きいものがあります。

今年の平和記念式典には国連事務総長が初めて参列してくれることになりました。また、次のステップに向け7月に国際会議を、11月にはノーベル平和賞受賞者サミットが開かれます。核兵器廃絶に重要なメッセージを発する場になるとしています。最終文書が採択されて、これからは、やはり世界的に世論を盛り上げることが一番重要だと思います。ここで、市民の声を代弁する都市・市長の出番です。核兵器廃絶がいかに緊急課題であるかということができるだけたくさんの人に理解してもらったうえで、国のトップに伝えること。そして、都市:

自治体を中心となつて市民といっしょにやっていくことが大事で、大切なことは日本国内に限らず都市間連携で世界を動かすことができるという事です。

被爆体験を未来の世代に引き継ぐことが大切!

私たちは平和市長会議でさまざまな努力をしていますが、その基本にあるのはやはり被爆体験です。この被爆体験を未来にずっと伝えていくことが核兵器廃絶につながり、さらに、再び核兵器を生み出さない世界につながると思います。被爆者の願いである「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」ということを実現するために被爆体験をきちんと未来の世代に引き継いでいくことが大切だと思います。そのためにも、私たち市民一人ひとりができることとして、良い本を読み、良い映画もたくさん出していますので見ていただきたいです。

2020年に核兵器廃絶! 実現に向けていっしょに努力を!

核兵器廃絶は技術的には可能です。アメリカでは核兵器を解体していて、今のペースで続ければ2019年までになくなるはずですが、なくならないのは新たに作り直しているから。最終的に何人かのリーダーの政治的な意思でこれをやめることを確固たるものにすればいいのです。2020年にこだわるのは、平均年齢76歳以上の一人でも多くの被爆者の人に核兵器のない世界を見たいからです。若い世代に対しても我々の世代の責任として、核兵器のない世界を贈りたいからです。広島は「75周年は草木も生えない」といわれたのですが、実際には

花も緑も多いまちになりました。しかし、核兵器が存在している限り、本当の生命を感じることはできない。本当の生命を獲得するということが大事なのです。その2020年に広島で平和の象徴オリピックを開催できればと検討を始めています。核兵器廃絶のめどをつけることとオリピック。ふたつの夢が同時に実現できるというふうに確信を持ちながら、みなさんといっしょにこれからさらに大きな波をつくって核兵器廃絶のための努力をすることができれば、こんなにうれしいことはありません。

会場参加者の声

一人で叫んでも無意味だと思っていたが、みんなで声を上げることは大切だと思った。(20代)

市民一人ひとりの考え、行動、取り組みこそが大事な事。国や指導者の話ではない、人任せでは何も進まないと思いました。(30代)

核兵器廃絶は願いではあるが、どこか理想のものという思いがありました。しかし、市民の思いは現実になる、そう確信できました。(40代)

会場ロビーで平和運動紹介

フォーラム会場のロビーでは、山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑による原爆資料の展示や、県内7地域の組合員による平和活動のパネル等が展示されました。参加者にいろんな取り組みを知らせることができました。



展示された原爆資料



平和おりづるオブジェ



第2部 県内首長と共に考える「平和」

講演後は、山口市の渡辺市長をはじめ県内の8つの自治体の首長や代理の副首長のみなさん、被爆者の代表として山口県原爆被害者団体協議会の竹田会長、コープやまぐち組合員でピースサポーターとして活動している横田さん、そして秋葉市長にも参加していただき、それぞれの平和への思いをお聞きしました。

首長のみなさんからは、それぞれの自治体において市民に呼び掛けすすめている平和の取り組みや非核平和都市宣言・平和市長会議加盟への経緯などが紹介され、自身の平和への思いや身近な体験、当日の講演の感想等も交えながらお話されました。

「やはり、世界で唯一の被爆国日本の権利として世界に核兵器廃絶を強く発信していきたい。」「核兵器はいらないという気持ちを持つ人たちが輪になるためには、こういったフォーラム等での団結が大きな力になり大切だと痛感している。」「平和への願いは、民意として自治体を挙げて取り組んでいくべきだ。」「県内全ての首長が平和市長会議に加盟したことは、それぞれの点がようやく面となれる。それを大きなネットワークとして機能していくことがこれからの我々の一番



大きな課題だと思っている。」「地域において取り組める我々の活動は地道であつてもしっかりと積み上げていくことが平和の礎となつていくと痛感している。」「原爆の悲劇、平和の尊さを次世代に継承していくさらなる取り組みを、加盟団体や市民と連携して取り組んでいきたい。」「市民・みなさん共々、平和を希求することは誰にも負けない。共に頑張っていきましょう。」「など、自治体・市民が一緒に核兵器廃絶の活動をすすめていく」という一体感が持てたフォーラムとなりました。

あなたにとって「平和とは?」一言で表していただきました



横田素子さん

「子ども達への贈り物」



秋葉忠利市長

「人の痛みがわかる心」



竹田国康会長

「恐怖や不安から解放され、命を大切にしてくれる世の中」



長信正治町長

「命愛生」



渡辺純忠市長

「平和の重さは地球の重さと同じ」



岡村春雄副町長

「願う恒久平和」



山田健一町長

「未来への責任」



瀧口治昭副市長

「生命を守るもの」



上岡宣雄副町長

「家庭」



上田順二副市長

「命の尊さ」



林 繁美副市長

「青い地球」

リレートーク参加者(順不同)

山口市	渡辺純忠市長
田布施町	長信正治町長
平生町	山田健一町長
萩市	瀧口治昭副市長
美祇市	林 繁美副市長
柳井市	上田順二副市長
和木町	上岡宣雄副町長
周防大島町	岡村春雄副町長
広島市	秋葉忠利市長
山口県被団協	竹田国康会長
ピースサポーター	横田素子さん
司会	西山宏子 全域理事

会場参加者の声

核廃絶に向けて、若い私たちの声を届けることを忘れてはならないと感じました。(19才)

各首長の平和への思いや心強いご意見を伺い、大きな力をいただいた気がしました。(70代)

平和の活動はそれぞれの立場からいろんな表現・主張があつていいのだと改めて思いました。(40代)

「みんなちがって、みんないい」の心は、世界中の人々が違う文化・生き方・価値観を持って生きていることを、みんなが認め合い、わかちあつて、思いやりを持つていこうという平和のメッセージに通じるものなのです。

フィナーレでは、ゲストに迎えた、金子みすゞの詩に曲をつけて歌う山口市在住の歌手・作曲家のちひろさんと会場全体で、「私と小鳥と鈴と」を手話を交えながら歌いました。「みんなちがって、みんないい」の詩に、会場みんなの気持ちがひとつになりました。



この夏、各地域でも、学習会やコンサート・展示会など平和への思いを実感できる様々な企画が予定されています。案内される地域・ニュース等をご覧の上、ぜひご参加ください。

また、ただ今、こつたした平和の活動等に使用するための「虹の平和とユニセフ募金」キャンペーンを実施しています。店舗では募金箱で、宅配では注文シートで募金ができます。詳しくは担当者、または問合せセンター(0120-49-5657)まで。キャンペーン期間は8月末まで。組合員のみならずのご協力、よろしくお願い致します。